

第4回 夢・未来 たからづか創生本部 本部会議議事録

日時：平成27年12月15日（火）15：30～16：00

場所：特別会議室

【次第】

1. 開会
2. 議事
議題1 宝塚市人口ビジョン（案）について
議事2 夢・未来 たからづか創生総合戦略（案）について
3. その他
4. 閉会

【配布資料】

- ・宝塚市人口ビジョン（案）（資料1）
- ・宝塚市人口ビジョン（案）の修正について（新旧対応表）、（P27 修正前、P28 修正後）（資料2）
- ・夢・未来 たからづか創生総合戦略（案）（資料3）
- ・夢・未来 たからづか創生総合戦略（案）の修正について（新旧対応表）、（夢・未来 たからづか創生本部第3回本部会議配布分 P1～6）（資料4）
- ・夢・未来 たからづか創生総合戦略（案）P1～3 修正版（当日配布）

【出席者】※順不同

中川市長、井上副市長、上江洲理事、福永企画経営部部長、井ノ上都市整備部部長、小坂子ども未来部部長、山本産業文化部部長、石橋消防本部消防長、岩城上下水道局局長、須貝教育長、森上下水道事業管理者、中島技監、中西市民交流部部長、坂井都市安全部部長、山中危機管理監、川窪健康福祉部部長、酒井環境部部長、五十嵐学校教育部部長、大西社会教育部部長

【議事録】

（1）議題1 宝塚人口ビジョン

（2）議題2 夢・未来 たからづか創生総合戦略（案）について

事務局：（資料1、2、3、4、当日配布資料に基づいて、修正事項について説明）

人口ビジョンのP7(2)「①合計特殊出生率」の1行目で「母の年齢階級別出生率」について、第3回本部会議で「母」より「女性」とする方が良いのではないかの意見をいただいたが、出典元である厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」では、「母」という表現をしているので修正しないこととした。

目標人口を約20万人とした理由を記述してはどうかという意見があったが、推計結果が198,501人であるためとは言えても、町の活力を維持するためという観点では約20万人である必要性を示せないため記述していない。

また、人口ビジョンについて定期的に検討、見直しをする旨を記述してはどうかと意見をいただいたが、目標に向けて戦略を立てる形なので、人口動向に応じて総合戦略の見直しをするが、人口の見直しは行わない。

井上副市長：総合戦略のP10、P11「「生きる力」を育み、次代の社会を担う子どもへの学校教育の充実」の主な事業が少ないのはなぜか。寺子屋事業など、記載できる事業は記載しておいた方がよいのではないか。

事務局：「主な事業」は事例として記載しているものであり、施策の文言に相当していれば、「主な事

業」に記載されていなくても、交付金対象事業と位置付けられると考えている。

五十嵐部長：事務局と協議をしたうえで、「「生きる力」を育み、次代の社会を担う子どもへの学校教育の充実」に追加できる事業を追加する。

小坂部長：人口ビジョンの P9 や P23 で「転勤の時期」とあるが、言葉の表現としてどうかと思う。

事務局：市民アンケートから、転勤、就職、結婚の時に引っ越しをする人が多いことが把握できたため、転勤、就職の記述をいれている。ただ、時期という表現は適切ではないので修正したい。

山本部長：総合戦略の P3「まちの魅力を知って～訪れたくなる～」で、清荒神清澄寺を中山寺より先に書いた方がよい。

事務局：修正する。

中川市長：本日いただいた意見をもとに修正していただき、人口ビジョンと総合戦略のパブリックコメントを実施したい。それでよいか。

一同：異議なし。

事務局：本部会議として、このパブリックコメント案の決定と位置づける。パブリックコメント案が本部会議で決定したことを 16 日に正副議長、17 日に会派代表者会で報告する予定である。その後、21 日に都市経営会議でパブリックコメントの実施の承認をいただき、1 月 4 日よりパブリックコメントを実施する予定である。

井上副市長：人口ビジョンと総合戦略についての議会での説明は初めてか。本部会議の事務局が説明するのか。

事務局：HP に載っている内容を読んだ議員より 12 月議会で質問があったが、市より積極的に説明をすることは初めてである。

以上